

調査名 資産形成のためのリテラシー調査, 2020

寄託者(寄託時) 株式会社大和総研

本集計表を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認下さい。

[アンケート質問文と加重平均集計値の一覧：第2次アンケート]

3. リテラシーに係る回答者の環境や関心等

◆3-1. 知識の収集源

あなたは金融、経済、年金、税制などの知識について、それぞれどのような媒体から知識を得ていますか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

	回答者数 (加重平均前の実数)	%		%	
1	テレビ	67.2	6	金融機関(銀行、証券、保険など)の 営業員やセミナーなど	8.8
2	新聞	31.0	7	家族、親戚や友人など	26.6
3	書籍・雑誌	21.1	8	その他	5.2
4	スマートフォンやパソコンのサイト・アプリ	54.2	9	そうした知識に関心がない	10.1
5	公的機関が開催するセミナー	3.2			

◆3-2. 教育を受けた経験

あなたは、これまでに金融、経済、年金、税制などについて教育を受けた機会がありますか。教育を受けた場所としてあてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

	回答者数 (加重平均前の実数)	%		%	
1	小・中学校	13.7	5	国や地方自治体	3.1
2	高校	20.7	6	金融機関	8.5
3	大学・短大・専門学校	19.1	7	その他	5.3
4	職場(労働組合、職業団体などを含まず)	17.9	8	いずれも受けたことがない	50.6

◆3-3. 教育を受ける希望

あなたは、今後、金融、経済、年金制度、税制などの知識について、教育を受ける機会が得られるとしたら、受けていますか。

	回答者数 (加重平均前の実数)	%
1	有料であっても受けたい	6.8
2	無料であれば受けたい	64.9
3	無料であっても受けたくない・受ける必要がない	11.0
4	分からない	17.3

◆3-4. リテラシーに触れる経験や環境

あなたの過去や現在の環境や経験について、以下の内容はどの程度あてはまりますか。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
1.学生時代、両親は株式や債券などの投資に積極的であった。	3.2	8.0	11.8	11.0	66.0
2.学生時代、両親からお金の話を聞くことはなかった。	16.5	21.6	26.7	15.4	19.7
3.学生時代、おこづかい帳をつける習慣があった。	10.9	15.0	15.1	15.1	43.9
4.学生時代、同年代の平均と比べて、算数（数学）は得意であった。	17.6	22.0	22.2	14.1	24.1
5.学生時代、同年代の平均と比べて、国語は得意であった。	15.6	25.8	27.9	14.8	15.8
6.学生時代、同年代の平均と比べて、経済や金融の知識を多く学んだ。	4.1	9.8	24.5	22.2	39.4
7.現在、家族や友人、同僚など周囲の人々は資産運用に積極的である。	5.1	13.1	27.6	18.5	35.7

(単位：％、回答者数（加重平均前の実数）：2,887人)

◆3-5. FinTech の利用状況と関心

あなたは、新しい技術による金融サービス（FinTech）として以下の商品・サービスを使っていますか、また、使ってみたいと思いますか。

1. 家計簿アプリ

2. ロボ・アドバイザー

「家計簿アプリ」とは、資産残高や毎月の収支などを自動集計してくれるサービスのこと。

「ロボ・アドバイザー」とは、簡単なアンケートに答えることで、自動で商品を推奨したり資産運用したりしてくれるサービスのこと。

	％	
	1.家計簿アプリ	2.ロボ・アドバイザー
回答者数（加重平均前の実数）	2,887	2,887
既に使っている／使ったことがある	24.9	4.5
使ったことはないが、使ってみたいと思う	16.4	20.4
使ったことはなく、使ってみたいとも思わない	40.2	43.5
分からない	18.5	31.6

4. リスク回避度と時間割引率

◆4-1. リスク回避度

あなたの勤め先において、仮に、今年の1年間に限り、「新しい報酬体系」を選択することが可能になったとします。（これまでと仕事内容は変わりません。また、「新しい報酬体系」を選択しても、来年以後の報酬は従来通りに戻るものとします。）

「新しい報酬体系」では、月収が毎月半々の確率で、現在と比べ月収が5割増しか3割減のいずれかになるものとします。あなたは、この「新しい報酬体系」を選択したいですか。専業主婦であるなど、あなた自身に収入がない場合は、配偶者が「新しい報酬体系」に変わることを希望するか否かを教えてください。

※「新しい報酬体系」を選択すると、従来のままよりも年収は平均的に1割増えます。ただし、約19%の確率で従来のままよりも年収が少なくなります。

	%
回答者数（加重平均前の実数）	2,887
1 「新しい報酬体系」を選択する	34.8
2 「新しい報酬体系」を選択せず、従来のままの報酬体系を選択する	65.2

◆4-2. 時間割引率

もし、今年、2万円を一度きり支払えば、あなたが65歳になってから、生涯、毎年1万円を必ず受け取れる制度があるとします。あなたはこの制度に加入したいですか。

	%
回答者数（加重平均前の実数）	2,887
1 加入したい	67.1
2 加入したいが2万円が支払えない	7.9
3 加入したくない	10.6
4 分からない	14.4

5. 老後の生活設計についての考え方

◆5-1. 将来の働き方（回答者本人）

あなたは、現在、どのような働き方をしていますか。また、60歳～80歳になったとき、どのような働き方をしていると思いますか。

現時点でわからなくても、なるべく最もあてはまりそうなものを回答してください。

	%					
	現在	60歳時点	65歳時点	70歳時点	75歳時点	80歳時点
回答者数（加重平均前の実数）	2,887	2,887	2,887	2,887	2,887	2,887
週4日以上働く	75.3	46.1	29.3	8.9	4.9	3.7
週2～3日程度働く	6.1	19.9	24.6	20.8	10.9	5.6
週1日以下だが定期的に収入を得る仕事をする	3.3	6.0	10.6	16.8	17.6	13.6
収入を得る仕事は全くしていない	15.3	9.3	12.7	24.5	33.2	41.6
全く分からない	0.0	18.7	22.9	29.0	33.4	35.6

[既婚者のみを対象とした質問]

あなたの配偶者は、現在、どのような働き方をしていますか。また、60歳～80歳になったとき、どのような働き方をしていると思いますか。現時点でわからなくても、なるべく最もあてはまりそうなものを回答してください。

	%					
	現在	60歳時点	65歳時点	70歳時点	75歳時点	80歳時点
回答者数（加重平均前の実数）	1,578	1,578	1,578	1,578	1,578	1,578
週4日以上働く	73.8	50.0	33.2	9.0	4.1	2.5
週2～3日程度働く	8.4	13.7	16.5	17.8	10.1	6.2
週1日以下だが定期的に収入を得る仕事をする	2.9	6.5	9.4	12.2	15.6	13.1
収入を得る仕事は全くしていない	14.9	13.9	18.7	28.7	34.6	40.5
全く分からない	0.0	15.9	22.3	32.3	35.6	37.6

6. 公的年金についての考え方

◆6-1. 公的年金支給額の期待値

老後を迎えたとき、あなたの世帯に支給される公的年金の支給額はどの程度だと思いますか。

正確に分からなくても、なるべくあなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

	%
回答者数（加重平均前の実数）	2,887
1 現在の高齢者の平均支給額を上回ると思う	3.8
2 現在の高齢者の平均支給額と同程度だと思う	10.3
3 最低限の生活を送るための費用が賅える程度の額だと思う	25.9
4 最低限の生活を送るための費用も賅えない程度の額だと思う	38.6
5 全く支給されないと思う	8.8
6 その他	0.4
7 全く分からない	12.3

◆6-2. 公的年金受給時期の希望

公的年金はもらい始める年齢を選ぶことができます。あなたは60～75歳のうち、何歳から公的年金をもらい始めたいですか。

早くもらい始めると月々の金額が減り、遅くもらい始めると月々の金額は増えますが、平均的には生涯でもらえる総額は変わらないものとします。

	%		%		%
回答者数（加重平均前の実数）	2,887				
60歳	25.2				
61歳	0.6	66歳	1.8	71歳	0.3
62歳	1.2	67歳	0.9	72歳	0.2
63歳	1.9	68歳	1.6	73歳	0.1
64歳	0.6	69歳	0.0	74歳	0.1
65歳	48.0	70歳	14.7	75歳	2.9

7. 老後の生活資金についての考え方

◆7-1. 必要な老後資金

あなたの世帯では、公的年金の他に、65歳以後の生活資金としていくらかの金融資産を準備しておく必要があると思いますか。

金融資産には、株式、投資信託、保険、確定拠出年金の残高を含み、受け取る見込みの退職金も含むものとします。

正確に分からなくても、なるべく最も近いと思うものを1つ選んでください。

	%		%
回答者数（加重平均前の実数）	2,887		
100万円以下だと思う	7.7	2,000万円～3,000万円程度だと思う	17.4
100万円～200万円程度だと思う	5.1	3,000万円～4,000万円程度だと思う	8.4
200万円～500万円程度だと思う	6.5	4,000万円～5,000万円程度だと思う	3.4
500万円～1,000万円程度だと思う	8.5	5,000万円以上だと思う	7.2
1,000万円～2,000万円程度だと思う	19.5	全く分からない	16.4

◆7-2. 準備できる老後資金

あなたの世帯では、現在のペースで貯蓄や資産形成を行った場合、65歳の時点で、いくらかの金融資産を保有しているだろうと思いますか。

金融資産には、株式、投資信託、保険、確定拠出年金の残高を含み、受け取る見込みの退職金も含むものとします。

正確に分からなくても、なるべく最も近いと思うものを1つ選んでください。

	%			%	
回答者数（加重平均前の実数）	2,887				
100万円以下だと思う	10.0	2,000万円～3,000万円程度だと思う	10.7		
100万円～200万円程度だと思う	5.6	3,000万円～4,000万円程度だと思う	4.6		
200万円～500万円程度だと思う	10.1	4,000万円～5,000万円程度だと思う	2.5		
500万円～1,000万円程度だと思う	13.8	5,000万円以上だと思う	6.1		
1,000万円～2,000万円程度だと思う	14.5	全く分からない	22.1		

◆7-3. 不足する老後資金の手当て

[7-2. で回答した金額が、7-1. で回答した金額に満たない人のみを対象とした質問]

現在の貯蓄ペースでは65歳以後の生活資金が不足すると考えている方に伺います。

あなたの世帯は、不足が見込まれる生活資金をどのように手当てする予定でしょうか。あてはまるものを全て選んでください。（いくつでも）

	%			%	
回答者数（加重平均前の実数）	805				
現役時代に就労による収入を増やす	37.6	親などから相続・生前贈与を受ける	8.9		
現役時代に節約し支出を減らす	48.0	自宅などの不動産を売却する	5.7		
資産運用により収入を増やす	31.6	リバースモーゲージを利用する	3.1		
65歳以後も就労し収入を得る	52.0	（自宅などを担保に融資を受ける）			
65歳以後に節約し支出を減らす	30.4	その他	3.3		
子などから仕送りを受ける	3.4	分からない	10.1		

8. リテラシークイズ（金融）

◆8-1. 複利

100万円を年率2%の利息がつく預金口座に預け入れました。それ以外、この口座への入金や出金がなかった場合、5年後には口座の残高はいくらになっているのでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないでご回答ください。

	%	
回答者数（加重平均前の実数）	2,887	
1 110万円より多い（正解）	41.0	
2 ちょうど110万円	23.7	
3 110万円より少ない	19.0	
4 上記の条件だけでは答えられない	8.2	
5 分からない	8.0	

◆8-2. インフレ

インフレ率が2%で、普通預金口座であなたが受け取る利息が1%なら、1年後にこの口座のお金を使ってどれくらいの物を購入することができますか。

	回答者数 (加重平均前の実数)	%
1	今日以上に物が買える	6.2
2	今日と全く同じだけ物が買える	9.9
3	今日以下しか物が買えない (正解)	56.9
4	分からない	27.0

◆8-3. 金利と債券価格

金利が上がったら、通常、債券価格はどうなるでしょうか。

	回答者数 (加重平均前の実数)	%
1	上がる	22.8
2	下がる (正解)	32.1
3	変化しない	7.3
4	債券価格と金利の間には何の関係もない	7.7
5	分からない	30.1

◆8-4. 住宅ローン、8-5. 分散投資

次の文章が正しいか間違っているかを、それぞれご回答ください

	回答者数 (加重平均前 の実数)	%		
		正しい	間違っている	分からない
8-4. 住宅ローンを組む場合、返済期間が15年の場合と30年の場合を比較すると、通常、15年の方が月々の支払い額は多くなるが、支払う金利の総額は少なくなる。	2,887	58.4 (正解)	7.3	34.4
8-5. 1社の株式を買うことは、通常、株式投資信託(※)を買うよりも安全な投資である。 ※何社かの株式に投資する金融商品	2,887	8.3	44.5 (正解)	47.2

9. リテラシークイズ (年金)

◆9-1. 公的年金の実施主体

国民年金や厚生年金の保険料を徴収し、年金の給付を行っているのは次のうち、どれでしょうか。

	回答者数 (加重平均前の実数)	%
1	銀行	5.5
2	生命保険会社	3.2
3	政府 (正解)	79.7
4	証券取引所	0.5
5	分からない	11.1

◆9-2. 厚生年金の保険料水準

現在、会社員などが加入している厚生年金で従業員が負担する保険料（会社負担分を含まない）について、次のうち最も適当なものを選んでください。

	全体	%
1	所得によらず月約2万円	7.7
2	所得によらず月約4万円	4.6
3	月給やボーナスに対し約10% (正解)	40.3
4	月給やボーナスに対し約20%	16.8
5	分からない	30.6

◆9-3. 公的年金の財源

今年度の高齢者に支払われている公的年金の財源のうち、最も多くを占めるのは次のうちどれでしょうか。

	全体	%
1	現役世代が今年度に支払った保険料 (正解)	53.0
2	消費税などの税金	15.3
3	現在の高齢者が過去に支払った保険料の積立金およびその運用益	14.3
4	分からない	17.3

◆9-4. 年金の加入義務、9-5. 終身年金

次の文章が正しいか間違っているかを、それぞれご回答ください

	回答者数 (加重平均前 の実数)	%			
		正しい	間違っている	分からない	
9-4.	現在、国民年金に加入し保険料を支払う義務がある年齢は18歳以上である。	2,887	29.1	43.3 (正解)	27.6
9-5.	高齢になって公的年金が支給開始されたら、何歳になっても支給は打ち切れず、終身で年金を受け取ることができる。	2,887	53.3 (正解)	13.1	33.6

10. リテラシークイズ（税制）

◆10-1. 所得控除

あなたの所得税の税率が合計 20%だとします。あなたが、所得税について 10 万円の所得控除を受けられる場合、所得控除がない場合と比べてあなたが支払う所得税はいくら減りますか。

	%
回答者数（加重平均前の実数）	2,887
1 2万円減る（正解）	36.3
2 4万円減る	7.9
3 8万円減る	3.9
4 10万円減る	8.4
5 分からない	43.5

◆10-2. NISA

少額投資非課税制度（NISA）についてあてはまるのは、次のうちどれですか。

	%
回答者数（加重平均前の実数）	2,887
1 口座内で保有している株式について、相続税が非課税となる	6.6
2 株式購入時の手数料について、消費税が非課税となる	6.0
3 運用によって得た利益について、所得税が非課税となる（正解）	51.3
4 運用によって損失が生じた場合、国が損失を補ってくれる	1.2
5 分からない、またはNISAを知らない	34.9

◆10-3. iDeCo

個人型確定拠出年金（iDeCo）についてあてはまるのは、次のうちどれですか。

	%
全体	2,887
1 掛金を支払った年に所得税の軽減が受けられる（正解）	26.6
2 iDeCoから受け取る年金または一時金は、全額非課税になる	23.2
3 iDeCoに加入した時点で、将来受け取れる年金または一時金の金額が保証される	6.4
4 分からない、またはiDeCoを知らない	43.8

◆10-4. 金融所得課税, 10-5. 消費税の軽減税率

次の文章が正しいか間違っているかを、それぞれご回答ください

	回答者数 (加重平均前 の実数)	%		
		正しい	間違っている	分からない
10-4. 現在、預貯金の利子や株式の配当金にかかる所得税・住民税の税率は、約10%である。	2,887	16.1	34.8 (正解)	49.2
10-5. 現在、食料品（外食・酒を除く）に対しては消費税の軽減税率（税率8%）が適用される。	2,887	66.9 (正解)	8.7	24.5

11. リテラシークイズの正解数予想

本調査で出題した 15 問のクイズにつき、あなたは何問正解したと思いますか。

回答者数 (加重平均前の実数)	%	
	2,887	
0問	9.8	
1問	6.0	6問 5.7
2問	9.1	7問 5.7
3問	13.8	8問 6.3
4問	7.2	9問 1.5
5問	15.5	10問 8.8
		11問 1.1
		12問 3.8
		13問 3.1
		14問 1.0
		15問 1.7